

慣用句の 意味を、ア・イ・ウから えらんで ○ を つけましょう。

① はな 鼻にかける

ア す それがとても 好きで、がまんできない。

イ き まちがいがないように、気をつけてよく 見はる。

ウ じぶん 自分の よい ところを じ 自まんする。

② みみ 耳をうたがう

ア きも ほこらしくて、とくいな 気持ちに なる。

イ じぶん 自分の よい ところを じ 自まんする。

ウ き 聞いた ことが、しん 信じられない。

③ め まる 目を丸くする

ア め おお おどろいて、目を 大きく 見開く。

イ き よく 聞こうとして、きも じっと 気持ちを あつ 集める。

ウ き 聞いた ことが、しん 信じられない。

④ みみ 耳をすます

ア あいて 相手を だしぬいて、い あっと 言わせる。

イ め おお おどろいて、目を 大きく 見開く。

ウ き よく 聞こうとして、きも じっと 気持ちを あつ 集める。

⑤ はな あ 鼻を明かす

ア あいて 相手を だしぬいて、い あっと 言わせる。

イ す それがとても 好きで、がまんできない。

ウ じぶん 自分の よわ 弱い ところを い 言われて、き 聞くのが つらい。

⑥ みみ 耳がいたい

ア き まちがいがないように、気をつけてよく 見はる。

イ じぶん 自分の よわ 弱い ところを い 言われて、き 聞くのが つらい。

ウ きも ほこらしくて、とくいな 気持ちに なる。

